

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋

オペレーティングフロアに設置してあるクレーンにおける試運転中の警報発生について

< 参 考 資 料 >
2 0 1 8 年 8 月 1 5 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

概要

本日（8月15日）午前9時10分頃、燃料取扱設備の試運転中の3号機において、オペレーティングフロア（以下、オペフロ）に設置してあるクレーンを用いて、資機材を片付けていたところ、警報が発生し、クレーンが停止した。

警報をリセット後、無負荷ではクレーンが正常に動作することを確認できたため、主巻フックを巻き上げ、クレーンをオペフロ上の元の位置に移動している。

引き続き、警報発生の設定を見直す等の作業も含め、原因を調査していく。

時系列

2018年8月15日

- 午前9時10分 原子炉建屋1階（大物搬入口付近）に置いてある資機材をオペフロ上にあるクレーンで吊り上げたところ、制御系の異常を示す警報が発生
- 午後1時35分 警報をクリアした上で吊り上げかけた資機材を元の位置に着座
- 午後2時30分 無負荷状態でクレーンを巻き上げ、オペフロ上の大物搬入口ハッチを閉止



<クレーン全景>